

St. Luke's International University Repository

2008年度聖路加看護学会理事会報告

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/3467

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



学 会 記 事

2008 年度 聖路加看護学会 理事会報告

第1回

- 日 時：平成19年11月30日〔金〕 18:00～19:30
- 場 所：聖路加看護大学 2号館 4Fミーティング
ルーム
- 出席者：理事 8 名，第12回大会長

<審議事項>

1. 新理事長の挨拶がなされた。
2. 2007年度第8回理事会議事録，2007年度第1回評議員会議事録，2007年度第12回総会議事録は承認された。
3. 新入会員と退会員の承認：1名の入会，1名の退会（2007年度退会扱い）が承認された。
4. 聖路加看護学会第12回学術大会について
参加費納入者173名，当日参加者158名（会員117名，非会員37名，院生4名）であった。収入は，参加費，大会準備金，第11回学術大会からの寄付等で合計1,176,079円，支出は，企画委員会会議費，大会費，庶務費で合計776,079円であった。黒字のため，大会準備金の返済，第13回学術大会に寄付する予定であると報告され，承認された。
5. 第13回聖路加看護学会学術大会の企画委員として，本学会から高木廣文理事を推薦する旨が説明され，承認された。
6. 看護の裁量権拡大会議への協力について
日本学術会議の「医のイノベーション」会議と連動して，看護裁量権の拡大に関する緊急会議が発足されたと説明がなされた。本学会は，看護に必要な裁量権を具体的に挙げていくために，本学会代表として，及川郁子理事が参加することが承認された。
7. 2008年度聖路加看護学会事業計画案について
本年度の事業計画について説明され，その他の事項として，選挙管理委員会の立ち上げ，本年度選挙の施行が追加され，計画案が承認された。
8. 選挙管理委員会の立ち上げについて
本年度の選挙に際して，選挙管理委員長に森明子氏（聖路加看護大学），選挙管理委員に廣岡佳代氏（聖路加看護大学看護実践開発教育センター），聖路加国際病院から1名を推薦する意向が話され，承認がなされた。
9. 聖路加看護学会役員および選挙管理委員の選出に関する規定について説明され，承認がなされた。
10. 学術大会における短期滞在外国人の発表に関する申し合わせ事項について
「学術大会での筆頭者としての発表について」の箇所について，筆頭者だけでなく，共同研究者も同様の扱いにすることが望ましいとの意見が出され，「筆頭者として」の文章を削除することが承認された。また，紙上発表時の扱いも今後，検討する必要があるとの意見が出された。
11. 2008年度聖路加看護学会理事会・評議会スケジュール案が承認された。

<報告事項>

1. 学会誌編集委員より，次号は3月発行予定であること，および現在の投稿論文数が報告された。また投稿規定の変更内容の説明がなされた。
2. 学術交流委員会より，第13回学術大会時に学術交流会を開催予定であること，開催テーマが決定していること等が報告された。
3. 庶務より，現在の会員数（583名），看保連の会員専用ホームページのID・パスワードの知らせをニュースレターに同封したこと，テプラの購入，アンケート調査への回答を行ったことが報告された。
4. 会計より，3年間の年会費未納者約60名に知らせを出したが，何名かは不明で戻ってきていることが報告された。
5. 将来構想委員会より，学会誌への投稿状況も含めて，今後の将来構想を検討していくこと，若手研究者の育成も将来構想として考えていく旨が報告された。

第2回（書面）

- 日 時：平成19年12月12日〔水〕 付
- 回答者：理事 9 名，監事 2 名

<審議事項>

1. ニュースレター委員会開催の報告と第22号発行の報告は承認された。
2. ニュースレター第23号は，例年通り3月に予定すること，また経費節約のため，学会誌への同封を検討したが，連絡調整にかかる労力を考慮し，例年通り単独で発送することが，承認された。

第3回

- 日 時：平成20年1月18日〔金〕 18:00～20:00
- 場 所：聖路加看護大学 2号館 4Fミーティング
ルーム
- 出席者：理事 6 名

<審議事項>

1. 2008年度第1回書面理事会議事録案は，会計の「大隈理事を大隅理事」に，「3年間の年会費未納者約60名を64名」に修正することで承認がなされた。
2. 新入会員の承認：1名の入会が承認された。
3. 入会のしおりについて
残数が少ないため印刷が必要である。しかし本年度役員の交代があることから，必要部数の印刷で本年度は補うことで合意がなされた。
4. 外国人研究者の発表に関する申し合わせ事項（案）について説明がなされた。事項の中の「抄録及び発表に使用する言語は，英語とする」につい

て、「英語又は日本語」とする意見が出され、次回の理事会で修正内容を確認することとなった。

5. 本年度の学術交流委員会について
大会終了後の夜に交流集会を予定していることから、開催場所（教室）、夜間の警備員の人件費、軽食付の会にするか等の検討事項が話された。さらに、学会の実行委員・ボランティアが出席できるよう学会終了後がよいのではないかと、認定看護師コースの学生やスキルアップ講座の学生への誘いもする必要があるとの意見が交わされた。
6. 選挙管理委員会のスケジュールについての説明があり、確認がなされた。
7. 本年度理事会スケジュールについての説明と確認がなされた。

<報告事項>

1. 庶務より、現在の会員数（583名）、選挙管理委員長および委員への委嘱状の発行、第2回書面理事会の承認内容、聖路加看護大学電子図書館への本学会誌公開、日本学術振興会賞受賞者決定について報告がなされた。
2. 聖路加看護学会第13回学術大会について
プログラム内容とタイムスケジュールの報告がなされた。
3. 会計より、過去2年間の会費未納者に催促状を郵送した旨が報告された。
4. 日本看護系学会協議会の動向：看護の裁量権会議について
日本学術会議の取り組みのひとつであるイノベーション推進会議に看護分野の代表者が参加しており、看護の各分野でどのように裁量権を拡大していくかを検討し、昨年12月に書類を提出した旨が報告された。

第4回

- 日 時：平成20年3月14日〔金〕 18:00～19:30
- 場 所：聖路加看護大学2号館4Fミーティングルーム
- 出席者：理事5名

<審議事項>

1. 2008年度第1回書面理事会議事録案は承認された。
2. 新入会員の承認：1名の入会が承認された。
3. 学会誌編集委員会より
昨年度発生した送料について、損じた学会誌送料を本年度予算で処理可能かの議題が出され、承認がなされた。
原稿の受け取り作業について、学会誌発刊が2巻になり、原稿の受け取り作業を委員のみで賄えなくなってきた。その作業を事務局に依頼したいとの議題が出され、解決先に対する様々な意見が交わされた。
4. 学外国人研究者の発表に関する申し合わせ事項（案）について説明がなされ、平成20年3月14日から施行することで承認がなされた。

<報告事項>

1. ニュースレター委員会より、3月14日付のニュー

スレターには学術大会の案内、住所変更届けを同封した旨の報告がなされた。

2. 会計より、2年間会費未納者（90名）に納入の依頼文書と振込用紙を郵送した旨が報告された。
3. 庶務より、現在の会員数（584名）、選挙管理委員会との打ち合わせ内容、5月中旬に選挙人・非選挙人名簿と評議員数の承認を書面理事会で行うこと、学会勧誘の予定、アンケートへの対応の件が報告された。
4. 看保連より、三保連共同の声明文を1月に提出したこと、平成20年度診療報酬改定における看護分野における主要改定項目についての説明がなされた
5. 学会誌編集委員会より、計70ページ相当の12巻1号が会員に発送される予定であること、現在、10編の投稿論文があり、次号に向けて査読依頼中であることが報告された。

第5回（書面）

- 日 時：平成20年5月27日〔火〕 付
- 回答者：理事10名、監事2名

<審議事項>

1. 2008年度聖路加看護学会評議員選挙の選挙人名簿と被選挙人の名簿、および地区別評議員人数について、書面理事会を開催したが、被選挙人の人数および選挙人名簿に誤りが発見され、第6回書面理事会にて再度検討されることとなった。

第6回（書面）

- 日 時：平成20年6月5日〔木〕 付
- 回答者：理事10名、監事1名

<審議事項>

1. 2008年度聖路加看護学会評議員選挙の選挙人名簿と被選挙人の名簿、および地区別評議員人数は承認された。

第7回

- 日 時：平成20年6月20日〔金〕 18:00～20:00
- 場 所：聖路加看護大学2号館5Fミーティングルーム2
- 出席者：理事8名、監事1名

<審議事項>

1. 2008年度聖路加看護学会第4回理事会議事録案は承認された。
2. 新入会員の承認：22名の入会が承認された。
3. 学術著作権協会ホームページ（英文）掲載事項について、英文ホームページの内容が説明された。
日本語から英語に翻訳する際に、適切でない英単語の部分があるとの意見が出され、再度、英文のネイティブチェックを受け、次回理事会で再度報告することとなった。
4. 第15回学術大会大会長の推薦について、各理事から意見を得、次回、審議することとなった。
5. 学会入会の促進について
今後、会員確保を積極的に行うのであれば、同窓生に8,000円は高額であり、会費検討の余地があるとの

意見が出された。各理事より、学生と同窓生は特別価格にする案が出されたが、特別価格の名称をどのようにするか、正会員ではなく準会員の位置づけが好ましいのではないかな等の意見が交わされた。また現在の広報だけでは会員獲得に困難があること、学会のあり方、学会発表の企画の検討も必要であるとの意見が出された。学会入会の促進については、会費の件も含めて今後も検討することとなった。

<報告事項>

1. 第13回聖路加看護学会学術大会について
当日のプログラムの教育講演は、60歳以上の地域住民にも500円で入場可能にする予定であること、交流集会と一般口演の時間帯を重ね、閉会時間を早めたことの説明がなされた。また一般演題は、計19演題、交流集会は3テーマである旨が報告された。
2. ニュースレター委員会より、次期（第24号）ニュースレターは学術大会号であり、第13回学術大会の内容、第14回学術大会長の挨拶等をメインに掲載予定であること、発行作業は、次期ニュースレター委員会との共同で進めるとの報告がなされた。
3. 学術交流委員会より、学術交流集会は講演者3名のうち2名が決定していること、参加証を発行し、その旨を広報チラシにも掲載すること、委員会予算から茶菓子もしくは軽食代を捻出する案があると報告がなされた。また学術大会の終了時間が予定より早くなった報告を受け、学術交流集会の開始時間も早める意向が出された。
4. 庶務より、学会員数、自動退会予定者、第5、6回書面理事会の結果、学会勧誘、選挙管理委員会との連絡調整について報告がなされた。
5. 会計より、本年度の年会費の入金は、予算額を達成したこと、今後は、学術大会発表者の会費納入状況の確認、自動退会候補者および退会希望者への未納額の通知、納入の再依頼を行う予定であることの報告がなされた。
6. 学会編集委員会より、現在11編の投稿があり、12巻2号への掲載で準備を進めていること、12巻3号が学術大会講演集になる旨が報告された。
7. 将来構想委員会より、2008年度委員会報告がなされた。今期委員会は、日本学術会議の動向や独立法人法の改正と税制変化が不透明であることから、早急の対応は必要ないこと、しかし、前期委員会提言の実現に向けて、来期も活動をしていく方針が報告された。
8. 看保連より、総会および診療報酬・介護報酬体系のあり方に関する検討委員会の報告がなされた。総会では、厚生労働省医療課に看護技術の「医療技術評価提案書」を提出したが、保険収載の承認は見送られた。今後、指導・教育に関する技術は医療技術評価分科会で扱わないこととなったため、今後、どのように看護技術を提案していくかを検討する必要がある。平成20年度の活動計画として、研究助成が事業のひとつになることが報告された。診療報酬・介護報酬体系のあり方に関する検討委員会で

は、介護報酬改定に向けて検討が進んでいる旨が報告された。

第8回

●日 時：平成20年9月5日〔金〕 18:00～20:00

●場 所：聖路加看護大学2号館5Fミーティング
ルーム2

●出席者：理事7名、選挙管理委員長1名

<審議事項>

1. 2008年度聖路加看護学会第7回理事会議事録案は一部修正され、承認された。
2. 選挙結果（評議員、理事、監事）は承認された。
3. 新入会員と退会者（会員資格喪失）の承認：新入会員5名、退会者39名が承認された。
4. 2008年度予算執行は承認された。
5. 2009年度事業計画案は、学術交流会のあり方の検討を加えた旨が説明された。「事業計画3. ニュースレターの発行」の記載に関して、具体的な号数（24、25号）を記入することで承認された。
6. 2009年度予算案は承認がなされた。
7. 総会の進行予定が説明された。例年より10分短縮された総会であること、一方で選挙結果報告が追加になること、そのため理事長挨拶や次期学術大会長の挨拶を短縮する予定であると説明された。総会は13時までになりたい旨を第13回事務局に連絡し、当日、受付等に終了時間変更の掲示をすることで承認された。
8. 総会資料の指摘箇所は修正することで承認がなされた。
9. 第15回聖路加看護学会学術大会長として聖路加国際病院 副院長・看護部長 佐藤エキ子氏を推薦することが同意された。

<報告事項>

1. 選挙管理委員会より、評議員および理事の辞退者が多く、選挙結果の確定に時間を要した旨が説明された。評議員の当選者は計32名、計7名の理事と監事2名が決定した。
2. 学会誌編集委員会より、本年度は第12巻1、2号の学会誌を発行したこと、検討事項として、作業管理体制や論文授受の方法の検討、英文ネイティブチェックの証明文書提出の義務化などの意見が挙がった。また論文の種類の定義が不明確であることの指摘があったことから、今後、検討していく旨が報告された。
3. ニュースレター委員会より、第22、23号を発行したこと、その内容を学会ホームページに掲載したこと、本学卒業生・修了生、採用教員、聖路加国際病院採用看護師に学会広報用として配布したこと、委員会を計5回開催したことが報告された。
4. 学術交流集会より、本年度の学術交流集会は、新たな試みとして、参加者を増やすために学術大会同日終了後にし、出席者に参加証を発行する予定であること、広報活動としてポスターを学会誌発送時に同封したことが報告された。また本年度の委員会

は、学術交流集会終了後の振り返りを入れて、計2回の開催である旨が報告された。

5. 看保連より、平成20年度看保連総会の議題、診療報酬および介護報酬体系のあり方に関する検討委員会の内容が報告された。
6. 将来構想委員会より、委員会発足の経緯と経過、学会誌・学術集会の2007年度までの動向の評価、学会への課題と提言、学会活動推進策の提言について説明され、これらの内容を次期理事会につなげていきたい意向が説明された。
7. 庶務より、現在の学会員数、総会案内の送付、学術交流広場の開催、講演集の買い取り、アンケートへの回答、国立大学教育研究評価委員会専門委員候補者について報告された。また、学術著作権協会英文ホームページについての修正案が説明され、承認された。本年度理事会報告、本年度の学会員数および庶務の活動報告が説明された。学会員数の人数の修正が指摘された。
8. 会計より、一般会計報告は、選挙開催にあたり人件費の支出が増額したこと、会費納入が予定額より多かったことが話された。2009年度一般会計および特別会計の予算案の説明がなされ、庶務の人件費は、選挙がないことから例年通りの予算に戻したと報告された。学術交流委員会の予算について、交流会を年2回に戻した場合に備え、予算を考慮する必要があるとの意見、また、次期役員が交代することで交通費の変動、新規事業を行う際の費用を予想し、予備費の上乗せが必要との意見が出され、予算を修正することとなった。繰越金が毎年多額であるとの意見も交わされた。

第9回

- 日 時：平成20年9月26日〔金〕 16:30～17:20
- 場所：聖路加看護大学本館5階505・506共同研究室
- 出席者：理事10名、監事2名

<審議事項>

1. 会計より、2008年度決算について報告がなされ、承認された。
2. 会計より、2009年度予算案について、予備費を昨年より上乗せしたこと、語句の修正を行ったことが報告され、承認された。
3. 理事長より、次期理事長は、新理事の互選により山田雅子氏（聖路加看護大学 看護実践開発研究センター）が選出された旨が報告され、承認がなされた。
4. 理事長より、総会の進行内容が説明され、確認が

なされた。他理事より、総会時の報告担当理事の変更の知らせを受け、その点を修正することで同意がなされた。

5. 理事長より、第14回学術大会長（堀内成子氏）の説明がなされ、再度、承認がなされた。
6. 理事長より、第15回学術大会長に佐藤エキ子氏（聖路加国際病院 副院長・看護部長）を推薦し、評議員会および総会時に報告する意向が出され、再度、同意がなされた。

<報告事項>

1. 理事長より、今期理事会の終了にあたり、挨拶があった。
2. 理事長より、2008年度第8回書面理事会議事録案（資料A）の説明がなされ、学会誌編集委員会の報告が二重に記載されていたため、「6. 学会誌編集委員会」の文章を削除し、「9. 会計報告」の文章については、予備費上乗せの理由として、交通費の変動以外に「新規事業を行う際の費用」を追加することで、承認がなされた。
3. 会計より、総会資料4に基づき、一般会計・特別会計の決算報告がなされた。
4. 監事より、総会資料4に基づき、一般会計および特別会計の会計監査の報告がなされた。
5. 庶務より、総会資料1、2に基づき、修正点について以下の報告がなされた。先に指摘された議事録（資料A）の修正箇所を修正し、総会資料1の理事会報告を完成させること、また前回の理事会で指摘のあった学会員数の修正を行った。
6. ニュースレター委員会より、総会資料3-2に基づき、不要文字を削除した旨が報告された。
7. 看保連より、総会資料3-4に基づき、前回の理事会の意見を受けて、「反映度」の表現を「要望反映度」に修正し、さらに文章を追加する旨の報告がなされた。
8. 将来構想検討委員会より、総会資料3-5に基づき、本年度の委員会総括の報告がなされた。
9. 選挙管理委員会の代理として、庶務より、総会資料7に基づき、評議員選挙結果の「郵送数」を「投票数」に修正した旨の報告がなされた。
10. 第13回学術大会企画委員会より、大会の準備状況についての説明があった。
11. その他
事業計画案（総会資料5）について、理事長より説明がなされた。他理事より、「学会誌第13巻Vol. 1, 2, 3号の発行」の「Vol.」が不要であることの見解があり、修正することで同意がなされた。